

令和6年度

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

事業報告書

令和6年度 社会福祉法人知多市社会福祉協議会 事業報告

1 連携と協働の仕組みづくり

(1) 市民協働の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業に前年度の会員募集で集めていただいた社協会費の20%をそれぞれ助成しました。	1,534,000	1,531,000	3,000
2	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)に協力いただいた地区へ、実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	368,000	340,834	27,166
3	総合ボランティアセンター管理運営事業	ボランティア活動の情報発信・交流の拠点として、幅広い活動支援を目指し、総合ボランティアセンターの管理運営を行いました。 相談件数：405件 派遣件数：432件 センター来館者数：2,454人 (平均205人/月) 登録：団体63グループ 個人91人 活動：団体783人 個人165人	1,145,000	554,724	590,276

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	ボランティア研修	総合ボランティアセンター登録の団体・個人ボランティアを対象に、双方が学ぶことのできる研修及び意見交換会を開催しました。 期日：9月18日 会場：市民活動センター 内容：今一度考えてみよう！ 防災対策と災害がおきた時に必要なこと 講師：鶴島道子さん （元陸前高田市職員） 新美沙奈 （珠洲市派遣職員） 佐藤若菜 （珠洲市派遣職員） 参加者：40人	29,000	8,620	20,380
5	団体ボランティア協働事業助成金交付事業	総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティア活動を活性化させ、地域福祉事業を共に推進するために協働で事業を実施する計画でしたが、申請団体がありませんでした。 助成額：100,000円上限 交付団体：なし	200,000	0	200,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	団体ボランティア運営費等助成金交付事業	総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティアの活性化のため、助成金を交付しました。 運営費助成登録 1 団体 5,000円 ボランティア連絡協議会加盟 1 団体(追加申請可) 5,000円 交付団体：38団体 合計：255,000円 備品購入費助成 対象：ボランティアセンター登録団体 助成額：100,000円上限 採択団体：4団体 ①ルポン 19,750円 ②南粕谷元気会 44,000円 ③キャサリンとゆかいな仲間たち 95,700円 ④みんなのつどいば「あそぼうかい」 92,800円	508,000	507,250	750
7	総合ボランティアセンター関連会議・研修	職員の資質向上のため会議、研修会へ参加しました。また、団体ボランティアの各種表彰の受賞にあたり、表彰式出席のための旅費を支給しました。	41,000	26,500	14,500

(2) 関係団体などとの連携の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	市民活動支援事業 ～活動支援を通じた人材育成～	市民活動センターに拠点を置く総合ボランティアセンター、地域福祉サポートちた、市民大学ちた塾と実行委員会形式で市民活動の支援を通じ人材育成を行いました。 期間：4月6日～3月25日 (全13回) 会場：市民活動センター他 参加者：延べ2,168人 内容：市民活動センターまつり、情報発信ワークショップ、月曜学習室他	実行委員会で予算計上		

(3) 活動・交流拠点の確保

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ふれあい・いきいきサロン事業	町内会などで地域住民が気軽に交流できる場の開設支援・情報提供・活動支援を行いました。 市内50か所 新規サロン 荒井ふれあいサロン（八幡） 廻間生き生きクラブ（八幡）	193,000	125,650	67,350

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	総合ボランティアセンター運営委員会	ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動及び事業について各種団体などで構成された運営委員会で検討しました。 運営委員会：3回	0	0	0

(4) 福祉教育の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	青少年ボランティア・市民活動体験事業	青少年を対象に団体ボランティア、NPO、福祉施設などでボランティア活動を体験する機会を提供しました。 期間：8月1日～8月31日 体験施設・団体数：30 参加者：延べ209人、 実人数145人(中学生22人 高校生122人、一般1人)	185,000	141,235	43,765
2	ふくし川柳	市内の小・中学生を対象に日常生活や実践教室などで感じたことを五・七・五の川柳として募集し、優秀者などを表彰しました。 応募総数：1,841作品 特選3作品・秀作6作品 佳作6作品	116,000	81,290	34,710

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	社会福祉協力校事業(実践教室・社会福祉図書事業)	市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方などとふれあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため市内の小・中・高など学校へ福祉に関する図書などの教材を配りました。 実践教室 助成額：各校50,000円 学校数：小学校10校 中学校5校 体験学習内容 ：講話・車いす体験、手話・点字、ガイドヘルプ、要約筆記、介護体験、災害救援、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、民生委員についてなど 長期プログラム 内容 ：防災理解・高齢者理解・障がい理解プログラム(年間) 社会福祉図書事業 助成額：20,000円上限 配布数：小学校10校、中学校5校、高等学校1校	1,670,000	1,226,516	443,484

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉教育セミナー	福祉教育に携わる関係者を対象に、学校・地域住民・行政・社協が一体となって進める福祉教育のあり方や視点を学ぶセミナーを開催しました。 期日：8月9日 内容：「子どもを真ん中にしたまちづくり～福祉教育・ボランティア学習を基盤として～」 講師：野尻紀恵さん（日本福祉大学 学長補佐/社会福祉学部教授）	32,000	31,440	560
5	民間保育所助成	市内の民間保育所7か所へ、遊具や絵本などの購入費用を助成しました。	192,000	182,654	9,346

2 必要な支援を受けられる環境づくり

(1) 包括的な支援体制の構築

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	あんしんとなり組・避難行動要支援者支援事業	町内会単位であんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域で座談会及び全体研修会を開催しました。 確認書締結地区：70町内会 あんしんとなり組・避難行動要支援者支援事業研修会 期日：7月7日 内容：「誰一人取り残さない防災に向けて私たちが身につけるべきこと～避難行動要支援者の個別避難計画について～」 講師：立木茂雄さん（同志社大学社会学部 教授） 参加者：会場199人 サテライト会場21人 （確認書締結地区役員、民生委員児童委員、市・社協職員）	202,000	123,730	78,270

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	傾聴ボランティア訪問支援事業	高齢者、障がい者、又はその家族を傾聴ボランティアが訪問し、話を聴くことによって相手との信頼関係を築きながら、孤独感や不安などを和らげることを目的に行いました。 傾聴ボランティア訪問支援 内容：概ね月 2 回利用者宅などを訪問 活動者：傾聴ボランティア うさぎ 利用料：無料 登録利用者数：6 人 打合せ会：月 1 回 ボランティアフォローアップ研修 内容：普通救命講習 I	0	0	0
3	買物支援ボランティア派遣事業	高齢者などの買物弱者を地域ぐるみで支えるために、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を行いました。 活動日：月～金曜日 10:00～16:00 (週 1 回 1 時間程度) 利用料：100円+燃料費200円 登録利用者数：4 人 打合せ会：月 1 回 ボランティアフォローアップ研修 内容：普通救命講習 I	7,000	0	7,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	知多市高齢者相談支援センター (知多包括支援センター) 高齢者虐待相談センター 認知症総合支援事業 (認知症地域支援・ケア向上事業) (認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業)	社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師などの専門職が高齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを行いました。また、高齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら運営しました。 相談件数：9,434件 (介護保険制度、認知症、生活支援などに関すること) 高齢者虐待に関する相談：551件 介護予防・事業対象者支援 計画作成件数：8,309件 ふくし出張相談 市内5中学校区(毎月1回) 相談件数：43件 出前講座 回数：7回 内容：高齢者相談支援センター活動紹介、介護保険、介護予防、認知症の対応など 認知症介護者交流会 回数：12回 参加者：延べ84人	178,083,000	164,445,518	13,637,482

		認知症総合支援事業研修会の開催 回数：2回 期日：5月31日 内容：認知症の方を地域で支える、地域住民・専門職の関わりについて 講師：ご近所福祉クリエーター酒井 保さん 参加者：85人 期日：7月12日 内容：高齢者虐待防止に向けた早期対応と支援のふりかえり 講師：知多市障がい者相談支援センタースーパーバイザー 高山京子さん 参加者：117人 世界アルツハイマー月間（9月）やアルツハイマーデー（9月20日・商業施設・中央図書館にて出張相談35件）に啓発・相談を実施 認知症カフェの開催 回数：37回 参加者：延べ218人 チームオレンジの支援 ふれあい・いきいきサロンを対象に認知症の人や家族の支援ニーズに基づくステップアップ研修を実施 期日：10月18日 参加者：83人 チームオレンジメンバー打合せ：9回			
--	--	---	--	--	--

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	若者未来応援事業	若者応援隊「まなざし」、サポートネットゆっか、市社会福祉協議会、コニックス株式会社（青少年会館指定管理者）の4者による実行委員会形式で市から受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。 若者サポート進路を考える会 期日：9月29日 内容：当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加者：会場85人 オンライン：12人 若者サポートセミナー 期日：2月16日 内容：「見えないSOS、伝わりにくい困りごと～不登校・発達障害への理解と支援～」 講師：一般社団法人 Focus on 代表理事 森本 陽加里さん 参加者：会場54人 オンライン：14人 不登校・ひきこもりインタビュー調査 内容：元当事者や支援者等を対象に調査。 啓発活動 内容：体験談集の配布 部数：300部	実行委員会で予算計上		

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	地域支え合い推進事業（コミュニティソーシャルワーカー受託）	コミュニティソーシャルワーカーを配置し、個別の暮らしの困りごとを制度やサービスにつなぐほか、制度では対応できない課題を地域で話し合う場を設け、見守り活動や居場所づくりにつなげました。 担当地区：5 中学校区 包括支援協議体委員会 回数：3 回 C S W会議 回数：12回 【八幡中学校区】 ・カレーマルシェの立上げと開催 ・平和をテーマに絵本の読み聞かせと語り部の実施 【東部中学校区】 ・ママのひとやすみの立ち上げ支援 ・お宝発表会からの繋がり「梅ちゃん亭」を定期訪問・活動支援 【中部中学校区】 ・ふくし出張相談（地域のこと語ろう会）を開催し、地域の状況及び課題を確認 ・地域のお宝を発掘し、お宝発表会で発表（やまもも・美女会） 【知多中学校区】 ・岡田コミュニティ環境福祉部会 研修企画・調整 ・地域の社会資源への訪問（サロン・食堂・市民活動） 【旭南中学校区】 ・多世代の居場所もーやいこ立上げ支援 ・地域のお宝を発掘し、お宝発表会で発表（みやたのうえん）			

		【研修】 (1) 知多市地域共生社会づくりフォーラム2024 期日：11月16日 内容：福祉をひらいてともに愉しむ地域づくり 会場：知多市勤労文化会館やまももホール 講師：大原裕介さん（社会福祉法人ゆうゆう理事長） 参加者：会場140人 (2) 令和6年度お宝発表会 期日：1月26日 内容：地域の中の住民主体のつながりについて 会場：知多市勤労文化会館やまももホール 講師：酒井 保さん（ご近所福祉クリエーター） 参加者：70人 【視察】 (1) 第6回地域共生社会推進全国サミットinいこま 期日：10月11日・12日 場所：生駒市 (2) 先進地視察 期日：11月1日 場所：春日台センターセンター 【個別支援】 重層支援会議：6回 必要に応じたケース検討の開催及び参画 【地域づくり支援】 地域のこと語ろう会（ふくし出張相談） 回数：12回×5地区 福祉協力校事業の開催、子ども食堂・サロンの活動支援	27, 135, 000	26, 560, 626	574, 374
--	--	---	--------------	--------------	----------

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）	生活困窮者に対して相談支援員が困りごとを整理し、自立に向けた個別プランを作成しました。また、関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行いました。 新規相談人数：158人 相談実人数：280人 相談対応件数（延べ）：1,890件 住居確保給付金（初回）申請：4件 住居確保給付金（再支給）申請：1件	18,370,000	14,808,181	3,561,819
8	生活困窮者自立支援事業（無料職業紹介事業）	自立相談支援事業の利用者を対象に、その方の希望や特性に合わせた求職活動、事業所の開拓などを行い、求人情報をホームページや掲示板などで公開し、就労斡旋を行いました。 相談件数：317件 求職登録者数（延べ）：202人 事業所登録件数：34件 就職者数：18人			
9	生活困窮者自立支援事業（家計改善支援事業）	相談者の家計の見直しや債務整理、税の分納相談に同行するなど、家計改善に向けて支援しました。 家計改善プラン作成：5件 相談実人数：58人 相談対応件数（延べ）：324件	6,317,000	6,076,331	240,669

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
10	フードバンク事業(チータンバンク事業)	市と「フードドライブ事業に関する協定書」を締結するとともに、事業の普及啓発を行い、市民や企業から寄付された食料品等は、生活困窮者や地域交流活動団体などへ配布しました。 フードバンク：149件 地域交流活動支援：163件 フードドライブ：143件	268,000	268,000	0
11	日常生活自立支援事業	日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続き、利用料の支払いなどを支援しました。 利用契約者数：11人	1,990,000	1,116,771	873,229
12	貴重品預かり事業	高齢者、障がい者又は生活困窮者などで判断能力はあるものの、貴重品や金銭管理などの自己管理が十分に行えない方が、安心した生活を送れるよう支援しました。 利用契約者数：3人	18,000	11,440	6,560
13	法人後見事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者で意思決定が困難になった方の財産管理、身上監護などを行うため、法人として成年後見制度を利用し、本人の権利を擁護しました。 法人受任件数：4人	360,000	14,281	345,719

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
14	資金貸付事業	低所得者・障がい者・高齢者に対する資金貸付と相談支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により特例貸付を利用した方に対し、相談・償還手続きの支援を行うことにより経済的自立や社会参加の促進を図りました。 生活福祉資金 福祉費：1件 特例貸付相談・償還 手続き支援：574件 つなぎ資金 貸付件数：14件 貸付総額：225,000円 償還件数：34件 償還総額：224,500円 償還免除：2件 償還免除金額：35,000円	14,234,000 (内訳) 生活福祉資金 10,775,000 つなぎ資金 3,459,000	11,019,690	3,214,310

(2) 情報提供の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	社協だより「ちたのふくし」の発行	社協の活動を市民に広く周知し、福祉への理解、関心を高めるために広報紙を4回、全戸配布しました。また、紙面をA4版カラー印刷4ページとし、見やすい紙面としました。 7月:「夏休みのママパパ応援します」 夏休み中の子どもが利用できる資源紹介、CSW 紹介、職員募集、決算報告 10月:「地域で輝き続ける高齢者」 ボランティア、居場所など地域で活躍する高齢者インタビュー、赤い羽根共同募金のお知らせ、職員募集 1月:「若者から高齢者までの困りごとを抱えている方へ」 自立生活サポートセンターの紹介、ふくし川柳作品紹介 4月:「社会福祉協議会にまつわるお金のはなし」 寄付金等の概要、使途目的の説明。福祉体験作文コンクール入選紹介、事業計画、会員募集お願い、共同募金運動のお礼 毎号掲載: 寄附報告、各課からのイベント情報・お知らせ	4,082,000	4,081,290	710

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	第24回福祉フェスティバルの開催	市と共催し、市内における福祉事業や各種団体の福祉活動を広く住民に紹介することで、住民参加の増進を図るために開催しました。 期日：10月26日 会場：メディアス体育館ちた 入場者：8,000人 参加団体：52団体 内容：各種団体などの活動発表、福祉体験、ゲーム、施設紹介、事業紹介、福祉フェスティバル作品展他	3,698,000	3,695,677	2,323
3	デジタル広報媒体事業	ホームページ、Instagram、LINEなどのSNSを活用し広く、情報発信に努めました。 内容：各事業案内、募集、事業報告、収支決算、事業計画、収支予算、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞作品など	714,000	582,738	131,262

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	視覚障がい者情報提供事業	視覚障がいのある方に音訳・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」などの情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書の設置を総合ボランティアセンターで継続して行いました。 利用者数：11人 発送数： [音訳数] 349本 [点訳数] 151冊 協力団体： ・声のたより「青空」 ・情報録音ボランティア「じゅげむ」 ・「ルポン」 ・点訳サークル「てんてん」	193,000	97,160	95,840

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	情報誌発行事業	総合ボランティアセンターに登録する個人・団体の情報を市民へ広く発信するために「ボランティアタウンちた」を発行しました。 発行部数： 「知りたい人、やりたい人編」 500部 「してほしい人編」 800部 配布先：市内公共施設、民生委員などの関係者 内容：センター利用ガイド、派遣手続き、グループ紹介など ボランティア活動に関心を持ってもらうために、市内全戸配布の社協だより「ちたのふくし」にボランティアに関する情報を掲載しました。また、ホームページ・SNSを活用して情報発信をしました。 発行回数：4回 （7月・10月・1月・4月） 配布方法：全戸配布	445,000	445,000	0

(3) 災害時の支援体制の整備

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座	災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な演習の反復を通じて資質向上を図るよう、講座を開催しました。 期間：11～12月 回数：4回 講師：西川賢次さん（防災士） 参加者：21人 延べ人数：57人	114,000	46,000	68,000
2	災害時対応物品整備事業	災害時の社協の初動に必要な物品を備蓄しました。 購入物品： ポータブル電源、無線LAN対応プリンター、トランシーバー2個、防災用ワンタッチテント	395,000	394,955	45
3	災害ボランティアコーディネーター入門講座	災害ボランティアセンター、災害ボランティアコーディネーターのことを知ってもらい、参加の契機となることを目的に入門講座を開催しました。 期日：9月28日 講師：鶴島道子さん（元陸前高田市職員） 西川賢次さん（防災士） 市防災危機管理課職員 市社会福祉協議会職員 参加者：23人	301,000	37,013	263,987

4	災害救援ボランティア派遣事業	災害時に被災地支援としてバスを借り上げ、災害ボランティアを派遣しました。 7月26日～28日知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会主催で、31名（内知多市5名）を派遣しました。（一部費用負担） また、令和6年能登半島地震の被災地支援として、職員を4名派遣しました。（県社協負担）	44,000	44,000	0
---	----------------	---	--------	--------	---

3 誰もが参加できる活動の場づくり

(1) 健康づくり・介護予防の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	【収入】 介護保険外対応 ホームヘルプ事 業（生活応援 サービス「かが やき」）	入退院時や病院内の介助 など、介護保険制度では対 象とならないサービスを提供 しました。 利用回数：96回	328,000	327,360	640

(2) 生きがいつくりと社会参加の促進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	総合ボランティア アセンダーミニ 講座	総合ボランティアセンタ ーに登録しているボランテ ィアが講師・協力者となり 、日頃の活動を市民に広く 周知しました。 回数：21回 参加人数：延べ191人	—	—	—
2	移送サービス事 業 車いす貸し出し 事業	移送サービス事業 車いすを使用され外出が 困難な方に福祉車両の貸し 出しを行い、社会参加支援 を行いました。 福祉車両：車いす対応車両 2台 利用件数：92件 利用者登録数：32人 車いす貸し出し事業 高齢者、身体障がい者・ 傷病者の方などに車いすを 貸し出し、日常生活の便宜 を図りました。 保有台数：55台 貸出件数：221件	972,000	472,139	499,861

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	ひとり暮らし高齢者への年賀状郵送事業	ボランティアグループの協力を得て、ひとり暮らし高齢者 765人に年賀状を通じた交流を行いました。	82,000	82,000	0
4	【収入】 障がい者居宅介護等事業	身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助などを行い、自立した生活の支援をしました。 利用回数：居宅介護3,379回 移動支援132回	21,000,000	20,496,502	503,498
5	【収入】 母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭・父子家庭などで就職活動、疾病、生活環境の変化などにより生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービスを提供しました。 利用回数：38回	59,000	58,140	860
6	各種福祉団体の支援	民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、子ども会連絡協議会、遺族会の事務局として、団体の事業や運営を支援しました。また、助成金を交付し、活動を支援しました。 民生委員児童委員協議会 188,880円（運営費） 身体障害者福祉協議会 50,000円（事業費） 子ども会連絡協議会 12,400円（運営費） 子ども会連絡協議会 50,000円（事業費）	302,000	301,280	720

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	応援アンバサダー事業	アフターコロナを見据え、主に在宅でできる作成ボランティアを「応援アンバサダー」と称し、ボランティア活動の活性化を図りました。	50,000	4,510	45,490

(3) 多様なつながりと交流の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ボランティア講演会	ボランティアの輪を広めることを目的にボランティア連絡協議会と共催で講演会を開催しました。 期日：3月8日 会場：知多市勤労文化会館 内容：「笑顔で生きる～認知症とともに～」 講師：丹野智文さん 参加者：185人	172,000	120,000	52,000
2	ボランティア連絡協議会への助成	団体ボランティアで組織するボランティア連絡協議会に対して、事業・運営に関する活動費を助成しました。	100,000	100,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	フリースペース「ひみつきち」 (発達障がい児居場所づくり事業)	発達に不安のある子どもとその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる家庭的な居場所を設けました。 回数：14回 開催：夏休み（5回）、第3土曜日（9回） 会場：福祉活動センター他 内容：レクリエーション、社会参加体験など 参加人数：利用者62人、家族65人、ボランティア142人（いずれも延べ） 発達障害の理解と支援 期日：7月22日 会場：福祉活動センター大会議室 内容：問題行動の事例などから発達障害の基礎的理解・支援方法を学ぶ。 講師：朝見留衣さん（あいち発達障害者支援センター） 参加人数：16人	74,000	32,998	41,002

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	フリースペース「まな」（ひきこもり・不登校居場所づくり事業）	ひきこもり・不登校で悩んでいる本人や家族をありのままに受け入れる居場所を設けました。 回数：24回 開催：毎月第2・4土曜日 会場：福祉活動センター、ねっとMUR A 内容：自由に話し合える居場所とレクリエーション （第2土曜日） 食事作り、中間就労体験、地域サロンへの参加など、食を通じた交流 （第4土曜日） 参加人数：利用者117人、ボランティア172人、見学者・協力者22人（いずれも延べ）	40,000	39,898	102
5	長期・年長ひきこもりを抱える家族の集い	ひきこもりの子を持つ家族同士が悩みなどを自由に話し合うことで、ひきこもる本人に対する理解を深め、対応の仕方などを情報交換したり、家族自身の持つ力を取り戻すために開催しました。 回数：4回 開催：5・8・11・2月 第4火曜日 参加人数：23人	4,000	4,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	障がいについて 考えてみよう会	障がい者本人や家族が交流会を通して、悩みや困りごとを話し合いました。 回数：2回 開催：6月・2月 内容： 【6月27日】 会場：福祉活動センター 内容：講演「東日本大震災を体験して思うこと」 意見交流会 講師：鶴島道子さん（元陸前高田市職員） 参加人数：17人 【2月17日】 会場：福祉活動センター 内容：市からの現状報告 グループワーク 参加人数：31人	144,000	6,000	138,000
7	障がい理解セミナー	障がいを正しく理解するためセミナーを開催しました。 期日：11月25日 会場：福祉活動センター 大会議室 内容：「東日本大震災の体験と備えに大切なこと」 講師：高橋みかわさん 参加人数：31人	52,000	30,000	22,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
8	地域食堂交流会	「食」を通じた居場所活動として、物資支援、活動者交流、研修を定期的に行いました。食材の需給調整はフードバンクと連携しLINEでの食材情報提供を行い、関係者と連携を図りました。 【研修会】 期日：10月29日 会場：メディアス体育館 ちた 講師：忠平 守さん （あいち子ども食堂ネットワーク） 内容：子どもを真ん中にした安心できる居場所づくり 参加人数：47人 【食堂de寄り合い】 期日：年2回 7月16日、3月7日 会場：福祉活動センター 参加人数：計45人	58,000	32,950	25,050

4 信頼される社協づくり

(1) 組織体制強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	福祉功労者顕彰	福祉活動の功績が顕著な個人・団体などに、表彰状、感謝状の贈呈を行いました。 表彰：4件 感謝：11件	51,000	18,674	32,326
2	役員研修	理事、評議員に対して社会福祉協議会に求められる役割の変化、役員としての関わりなどについて研修を行いました。 期日：10月11日 会場：福祉活動センター 内容：第3次知多市社協発展強化計画の事業戦略と実行力強化について 講師：篠原辰二さん (Wellbe Design 理事長)	50,000	50,000	0
3	職員研修	職員の資質向上のために一般事務員、高齢者相談支援センター職員、ホームヘルパー、コーディネーターを対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。 内容：職員全体研修、新規採用職員研修、キャリアパス研修、CSW研修、ハラスメント研修、発展強化計画など	293,000	292,180	820

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉活動センターの管理運営	福祉団体・ボランティアグループなどの活動拠点である福祉活動センターの指定管理を市より受託し、サービスの向上に努めました。 年間利用者数： 1,246件 14,862人	11,659,000	11,385,150	273,850
5	発展強化計画（中間）策定事業	第3次社協発展強化計画（R4～R9）の中間年にあたり、重点取組項目を検証し実施事項の変更を行い、5つのプロジェクトを導入しました。	230,000	230,000	0

(2) 財源強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	会員募集	自主財源確保のため、会員募集を各コミュニティを通じて行いました。また、加入促進を図るため、市内法人社、事業所などへ出向き直接依頼しました。 会費収入 一般会員(500円) 13,793件 6,896,450円 特別会員(1,000円以上) 434件 426,600円 法人会員(3,000円以上) 154件 708,000円 合計 8,031,050円	754,000	694,519	59,481
2	ちょこっと募金	市内の店舗などにちょこっと募金箱を設置し、広く市民に呼びかけボランティア事業財源の確保に努めました。 設置数：29店・4施設 募金額：57,949円	133,000	0	133,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	自動販売機設置事業	市内公共施設に自動販売機を設置し、収益を事業に充当しました。 設置台数：市内 4 か所 5 台 設置場所： ・福祉活動センター ・消防署八幡出張所 ・ふれあいプラザ ・こども未来館	425, 000	358, 274	66, 726

(3) 介護保険等事業の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	障がい者相談支援センター 特定相談支援事業	障がいのある方やその家族などへの情報提供、相談、支援を行う障がい者相談支援センターを 3 法人（知多福祉会、NPO法人びすた〜り、知多市社会福祉協議会）で共同運営しました。 特定相談支援事業では、サービス等利用計画の作成などを行いました。 事業所名：障がい者相談支援センター 相談実人数（3 法人） ：144人（月平均） 障がい者相談件数（3 法人） ：10, 312件 事業所名：障がい者計画相談支援事業所しやきょう サービス利用など計画作成件数（計画案含む） ：124件 認定調査件数：71件	17, 794, 000	16, 988, 388	805, 612

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	【収入】 訪問介護事業	要介護の方の排泄などの身体介護、調理や洗濯などの家事援助、要支援の方の予防訪問介護サービスを提供しました。 事業所名：社協ヘルパーステーション サービス提供時間：年中無休 7 時～21 時 訪問介護利用回数：5,563 回 介護予防訪問介護利用回数：1,333 回	32,400,000	27,992,147	4,407,853

(4) 市民への P R

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	公式マスコットキャラクター活用	知多市社会福祉協議会の認知度向上のため、マスコットキャラクター「チータン」を活用し、シールやメダルなどを作成するなど、親しみやすい社協を P R しました。	123,000	16,500	106,500